

平成 28 年度 風の子保育園 事業計画

風の子保育園のめざすもの（運営理念）

- ① 子ども達が自然の中でのびのび育つことのできる保育園
集団の中で一人一人が大切にされ、自主性と社会性を見につけ豊かな感情と思考力の発達をめざした保育を！
- ② 産休明けから就学まで、年齢・障がい・保育時間を問わず、保育を必要とする子ども・保護者・の立場にたった保育の創造をめざそう！
- ③ 父母・職員・後援会・地域住民がひとつになって、皆でつくり皆で育て地域から愛される保育園に！
- ④ 子ども・父母・職員の立場を大切にし、皆の財産である保育園を民主的に運営しよう
- ⑤ 保育をめぐる様々な要求を大切にし、その一つ一つを子どもと保育を必要とする父母の立場に立って、実現できるよう、保育運動を発展させよう。

事業計画

今年度、40周年記念事業の企画も含め未来検討委員会を立ち上げます。新園舎での4年をふりかえり未来につなげていきたいと考えています。

0歳児にダウン症R君と1歳児に昨年から経過をみてきたR君がいることを配慮し、新入園児5名を含めた13人の1歳児クラス集団とし、月齢差と発達差を考慮した柔軟な保育体制をとっていきたいと思います。3歳児クラスはダウン症のIちゃん、心臓疾患のK君、言葉の遅れがあるH君の3人を含めた24人の集団を保育士3人配置し、障害のある子ども達を含めた集団作りを行っていきたいと考えています。体制的には、病休により休業している職員や高齢者雇用・育休復帰・産休に入る職員等があり、人的補いを考えながらの体制作りをしていきたいと考えています。

情勢については、引き続き、情勢部会として保護者・職員に対してわかりやすく伝えるための学習、伝えるための努力や工夫をしていきたいと考えています。

地域事業については、保育園体験（2歳児の月預かり）・一時預かり事業を引き続きおこないます。

- ① 40周年にむけての取り組みについては、未来検討委員会を発足させ法人と連携しながら企画も含め考えていきたいと思います。
- ② 園長、副園長、主任が昨年同様に給食・乳児・幼児に指導的立場で入り、保育理念「一人ひとりの育ちを大切にしよう」を実践していきます。
- ③ 情勢部会として、新システムについて積極的に学習し情勢も含め、職員・保護者にわかりやすく伝える努力をしていきたいと思います。（情勢だよりの発行・新制度についての劇など）
- ④ リトミック体操はわらべ歌(2.3歳児)として幼児体操教室(4.5歳児)を昨年同様に行っていきます。いずれも職員の研修として位置づけます。乳幼児研究会や全国保育団体合同研究集会などに積極的に提案をしていきます。